

# ジョンソン準同型への幾何的アプローチ

久野雄介 (津田塾大学)

ジョンソン準同型は、曲面の写像類群の代数構造を調べるための基本的な道具である。それは、曲面の基本群への写像類群の作用を用いて定義される次数付きリー代数の単射準同型であり、その像は写像類群の線形近似にあたる (とって研究している)。この講演では、ジョンソン準同型について概説した後、曲面上のループとそれらの交差や自己交差を用いて定義される演算に着目したジョンソン準同型へのアプローチについて述べる。(河澄響矢氏 (東大数理) との共同研究, および Anton Alekseev 氏 (ジュネーブ大学), 河澄氏, Florian Naef 氏 (コペンハーゲン大学) との共同研究に基づく。)